

令和5年度 小清水小学校（中学校併設一貫型） グランドデザイン



〈子ども達・学校・家庭の課題〉

- ・学習したことが十分に定着していない。
- ・話すこと、聞くこと、読むことに課題がある。
- ・テレビやゲーム動画を見る時間が長い。
- ・家庭学習の時間が短い。
- ・関係機関との連携や教育活動の情報発信。
- ・地域と連携した取組や外部講師の活用。
- ・特別支援教育、通級指導への更なる理解や周知。
- ・学校段階間の連携・接続。

〈小清水小の子ども達に身に付けさせたい力〉

- コミュニケーション能力（他者と上手に関わる力）
- 基礎学力+話す・聞く・読む力
- 課題をもち、目標に向かって全力で挑む力（間違いを恐れない）
- 自ら考え、判断し、行動する力

【学校教育目標】 響け心に 輝け笑顔 ～小清水の大地に拓け未来～

○こころやさしく ○しっかりまなび ○みずから体をきたえる子

【重点教育目標】 当たり前前を当たり前前にできる子どもの育成

【令和の日本型学校教育】

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・教師は。子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を担う。

重点1 小中一貫教育の推進（ふるさと小清水の未来を担う人材育成）～「当たり前前を当たり前前に身に付ける」～

自立

中3卒業時の目指す姿

自分で考え、判断し、実行し、自己解決する生徒。

小6卒業時の目指す姿

自分で考え、計画し、協力しながら実行できる児童。

□9年間を貫いた目指す子ども像の共有

□持続可能で有益な小中合同研修の実施

□算数・数学科、総合的な学習における教育課程の接続

□学力調査結果の共有と分析

■乗り入れ授業・交流授業

■教科担任授業

■小中相互授業参観

■6年生中学校登校

小清水の子どもは
小清水で育てる！

重点2 指導の質の向上（わかる・楽しい授業で学力向上を）

□授業づくり5つの視点を意識した授業実践

□1人1台端末の効果的な利活用

□実践的な校内研修の充実

□学習・生活スタンダードの見直し・徹底・継続



重点3 業務の質の向上（働き方改革を意識して学校の教育力を高める）

□コロナ終息後の学校行事、教育活動の工夫

□分掌部会と校務運営委員会の充実

□C4 t h（校務支援システム）の積極的活用

□月2回の定時退勤日の設定と実施の徹底

地域とともにある学校

家庭や地域との連携・協働

- 家庭との連携の促進
- 地域の特色や教育力の活用
- ・土曜授業の積極的活用
- 学校運営協議会の理解と推進



心やさしい子

豊かな心と人間性を育む教育

- 学級・ブロック経営の充実
- 組織的な生徒指導によるいじめ・問題行動の解消
- 成長につながる特別活動
- 道徳教育の充実
- ・指導、評価に係わる研修の実施
- 読書意欲を高める活動
- 安全教育の推進

しっかり学ぶ子

社会の変化に対応する教育

- 義務教育9年間を見通した確かな学力の育成
- ・課題提示と振り返り
- ・言語活動と学習評価の充実
- ・ICTの効果的な活用
- 特別支援教育の充実
- 探求的な学習過程を重視した総合的な学習の時間
- 情報活用能力の育成
- 教育活動全体を通じたキャリア意識の形成

みずから体をきたえる子

心身の健やかな成長を促す教育

- 体力・運動能力の向上
- ・体力テストの分析結果をもとにした体育、保健授業の改善
- 食育の推進
- ・食物アレルギー情報の共有
- 健康教育の推進
- ・日常的な感染症予防



組織の活性化と人材育成

学びをつなぐ学校づくり

- 学校段階間の連携・接続の推進
- 人材育成の推進
- 教師の姿勢
- ・法令遵守と服務規律の保持
- 教育環境整備
- 働き方改革
- ・手引き「Road」の活用

